

2016年 月
請願人

紹介議員

原発も核のごみ捨て場もない北海道の実現を求める請願

【請願趣旨】

福島第一原発事故は、依然として収束せず、汚染水も流出し続けています。いまでも約9万人もの県民が避難生活を強いられ、事故収束の見通しも立っていません。原発と人間社会が共存できないことは明らかです。

泊原発が運転停止して4年目になりますが、電力不足は起きていません。泊原発は再稼働せず、全原発を廃炉にし、原発のない安心・安全な北海道の実現が多数の道民の願いです。

大間原発は、ウランとプルトニウムの混合酸化物=MOX燃料を全炉心で燃やすという世界にも例がない危険きわまりない原発です。完成していない今のまま建設中止してほしいーこれが函館市民と道南住民、道民多数の願いです。

核のごみについて、人間社会はいまだに安全に処理・処分する技術を持ちあわせていません。政府が進めようとしている地下300m以深の深地層へ処分する方針は、日本学術会議による暫定保管の政策提言と整合性がなく国民合意ありません。高速増殖原型炉“もんじゅ”や六ヶ所再処理工場の事実上の破たんなど、核のごみの全量再処理という核燃料サイクル政策は完全に行き詰まっています。幌延深地層研究センターは、地質的に研究地としても最終処分場としても不適地であり、廃止すべきという学者や専門家の声が多くあります。

いまこそ原発・核燃サイクル政策から撤退し、安全で再生可能な自然エネルギーの大規模な普及に転換し、安全・安心な北海道の実現をめざすよう願うものです。

以上の趣旨を踏まえ、道民のいのちと安全に責任を負う立場から、以下のことを請願します。

【請願事項】

- ① 泊原発の再稼働に同意せず、ただちに廃止・廃炉入りを求めてください。
- ② 世界にも例がない危険なフルMOX型の大間原発は、建設中止を求めて下さい。
- ③ 全国一の食糧供給基地北海道を核のごみ捨て場にしないよう関係機関に求めて下さい。
- ④ 原発・核燃サイクル政策から撤退し、再生可能エネルギーに軸足を移すよう求めて下さい。

おなまえ	住所	募金

呼びかけ団体：原発問題全道連絡会、軍事費を削って国民の福祉・暮らし・教育の充実を 国民大運動北海道実行委員会（連絡先・003-0805 札幌市白石区菊水5条1丁目4-5 道労連内 電話：011-815-8181、Fax：815-4545）

【取扱い団体】